

令和 7 年度(2025 年度)小中高生の外務省訪問
(5 月分)

令和 7 年 6 月 25 日

●東京都 三重県 四日市市立西笹川中学校(令和 7 年 5 月 13 日)

講 師: 稲葉真奈美 アフリカ部アフリカ第一課 主査

開 催 形 式: 対面



●愛知県 江南市立西部中学校(令和 7 年 5 月 14 日)

講 師: 飛岡健太 在釜山総領事館 領事

開 催 形 式: ハイブリッド



●岐阜県 岐阜大学教育学部附属中学校(令和7年5月14日)

講師: 林源太 経済局経済連携課 主査

開催形式: 対面



●静岡県 長泉町立北中学校(令和7年5月22日)

講師: 加藤要太 総合外交政策局総務課 主任外交政策調整官

開催形式: 対面



●三重県 鈴鹿市立大木中学校(令和7年5月27日)
講 師: 阿部祥菜 大臣官房国内広報室 事務官
開 催 形 式: 対面



参加生徒からの感想(抜粋)

- 今まで外務省についてあまり知らなかったが、仕事について知り、日本の利益や平和を守る、とても重要で責任が大きい職業だと知った。これから外務省との対話から学んだことを活かし、自分にできることを見つけ行動していきたいと思った。
- 外務省員が言語を習得し、どのように外交をするのか、また具体的に現地で何をしているのか、どんな風に交流しているのかを知った。ニュースの裏側を知ることができて楽しかった。
- 職員の方の仕事に対する熱意がすごく印象に残った。
- 交渉のときかけひきをする話を聞いて、かっこいいと思った。外交に対してより興味を持てたので、もっと調べたいと思った。

先生からの感想(抜粋)

- 外交に対する考えが広がった。
- 実際に外務省を訪問見学できたことで、生徒の興味や関心が深まったと感じた。